進 路 通 信

校訓：磨きあえ心　学びあえ和　鍛えあえ体

令和5年8月29日 第24号
佐世保市立鹿町中学校

「目 的 意 識 を 持 つ」

長い夏休みが終わりましたが、夏休み前に計画した日課表に沿って、有意義な生活を送ることができたでしょうか。7月末に県中総体を終え、2年生を中心とした新チームが動き出しました。3年生は部活動を引退し、卒業後の進路に向けて新たな一歩を踏み出しました。3年生にとっては進路において大変大切な時期を迎えます。11月の進路決定に向けて、真剣に考え具体的に取り組んでいかなければなりません。

6月から高等学校のオープンスクールや一日体験入学（学校説明会等）が始まり、これまでにたくさんの生徒の皆さんや保護者の方々が参加しました。実際に高校へ出向いて説明を聞き、学科やコースの体験実習や模擬授業を受けたり、部活動を体験・見学したりするなど、貴重な体験を通して、それぞれの生徒が高等学校への夢を描いていたようでした。参加したある高等学校の校長先生が挨拶の中で、次のようなことをおっしゃいました。

「中学生の間に、どの方向へ進むか、どの高等学校を選ぶか、しっかりとした目的意識を持つことは難しいかもしれない。しかし、しっかりとした目的意識を持って学校を選択し、志願し、そして高等学校で頑張るぞという意識を持って入学してほしい。」

私たちにとって大切な重みのあるメッセージではないでしょうか。

「進路」とは人の「生き方」であり、毎日の生活の延長線上にある

進路とは、人が夢の実現のためにどんな生き方をするのかを考えることであり、実際に行動することです。そしてそれは、毎日の生活の延長線上にあります。当たり前のことですが、進路はある日突然決まったり、目の前に開けたりするものではありません。夢の実現のために、今を精一杯生活することが進路を切り開く力になります。だからこそ、日々の生活を大切にし、自分がどうしたいのか、どうありたいのかを考え、具体的に行動に移していくことが重要です。

さあ、2学期が始まりました。夏休みの過ごし方を振り返り、2学期をどう過ごすかを具体的に考え、自分の力を伸ばしていってほしいと思います。

多様な分野の本や新聞を読もう！

中学生時代は進路に対する不安を持ちやすい時期です。だからこそ、この時期に人間の生き方などにふれた文学、将来自分が進みたい職業に関連した本、科学的な読み物、新聞などを読むことで、自分の考えを深め知識を広げたり、社会の出来事に対する関心を高めたりすることは、進路の決定にも役立ちます。

本や新聞を読んで感じたこと、考えたことや自分の将来についての夢や希望などを話題にして、家族と話し合うことで、将来を見すえ、はっきりとした目標を持ち進路を決定していきましょう。